



道南金融経済概況 2020年9月

Hakodate Monthly Economic Report

概況

道南地方の景気は、新型コロナウイルス感染症による下押し圧力が幾分和らぎつつあるものの、厳しい状況が続いている。

項目別にみると、新型コロナウイルス感染症の影響から、観光は、底打ちしつつあるものの、厳しい状況が続いているほか、個人消費は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱い状況が続いている。そうしたもとで、生産は、一部に弱めの動きがみられるほか、雇用環境は、求人数の減少から、弱さが目立っている。この間、公共投資は、高水準で推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、減少している。

前回からの変化

項目	前回	前回比	今回
全体判断	新型コロナウイルス感染症の影響が一段と広がっており、厳しい状況にある。	⇒	新型コロナウイルス感染症による下押し圧力が幾分和らぎつつあるものの、厳しい状況が続いている。
公共投資	高水準で推移している。	⇒	高水準で推移している。
設備投資	減少している。	⇒	減少している。
住宅投資	弱めの動きとなっている。	⇒	弱めの動きとなっている。
個人消費	弱い動きとなっている。なお、特別定額給付金が消費を喚起する動きが一部でみられている。	⇒	一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱い状況が続いている。
観光	厳しい状況にある。	⇒	底打ちしつつあるものの、厳しい状況が続いている。
生産	一部に弱めの動きがみられる。	⇒	一部に弱めの動きがみられる。
雇用	雇用環境は、求人数の減少から、弱さが目立っている。	⇒	雇用環境は、求人数の減少から、弱さが目立っている。

1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

公共工事請負金額（渡島・桧山管内、2020年度初来累計）は、鉄道を中心に前年を上回っている。

設備投資は、減少している。

2019年度設備投資実績（6月短観、含む土地投資額）は、非製造業が前年を上回ったものの、製造業が前年を下回ったことから、全体でも前年を下回った。また、2020年度設備投資計画（同）は、製造業が前年を上回っているものの、非製造業が前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。この間、生産・営業用設備判断D.I.（6月短観、全産業）は、「過剰」超となった。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数（函館市）は、持家は消費税率引き上げを受けた需要増加の反動がみられているほか、各種購入支援策による下支えも一巡しつつある。貸家は弱めの動きとなっている。

個人消費は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱い状況が続いている。

小売店売上高（主要7社）は、前年を上回った。品目別にみると、衣料品は前年を下回ったものの、食料品、身の回り品は前年を上回った。乗用車新車登録・届出台数は、普通・小型車、軽自動車ともに、下げ止まりつつある。家電販売をみると、テレビなどを中心に引き続き底堅く推移している。旅行取扱額をみると、国内旅行は底打ちしつつあるものの、全体としては減少が続いている。

観光は、底打ちしつつあるものの、厳しい状況が続いている。

函館市内ホテル（主要23先）の宿泊客数は、前年を下回った。函館山ロープウェイの利用客数は、前年を下回った。五稜郭タワーの利用客数は、前年を下回った。函館空港乗降客数は、前年を下回った。

2. 生産

生産は、一部に弱めの動きがみられる。

主要業種別にみると、水産加工は、弱めの動きとなっている。造船は、安定した操業を続けている。

3. 雇用

雇用環境は、求人数の減少から、弱さが目立っている。

有効求人倍率（渡島・桧山管内）は、前年を下回った。この間、雇人員判断D.I.（6月短観、全産業）は、人手不足感が後退し、若干の「不足」超となった。

4. 企業倒産

企業倒産は、基調としては緩やかに増加している。

5. 金融

預金は、個人や法人を中心に増加している。

貸出金は、法人向けを中心に増加している。

貸出金利は、緩やかに低下している。

道 南 主 要 指 標

1. 実体経済関連指標

	公共工事請負金額 (渡島・桧山管内)		小売店 売上高前年比 (主要7社)	乗用車新車登録・届出台数			
	前年比	%		普通・小型車		軽自動車	
			前年比	%	前年比	%	前年比
2018年度	百万円	%	%	台	%	台	%
2019年度	88,391	12.0	▲ 1.3	8,476	0.1	6,980	▲ 1.6
	103,852	17.5	▲ 2.2	7,868	▲ 7.2	6,161	▲ 11.7
2019年 4- 6月	56,809	2.6	0.1	2,230	▲ 2.2	1,720	▲ 4.1
7- 9月	26,058	59.8	▲ 0.9	2,198	▲ 2.4	1,627	▲ 7.5
10-12月	10,195	24.4	▲ 4.6	1,421	▲ 18.9	1,224	▲ 17.0
2020年 1- 3月	10,784	26.4	▲ 3.2	2,019	▲ 8.0	1,590	▲ 18.7
4- 6月	68,340	20.3	▲ 3.6	1,560	▲ 30.0	977	▲ 43.2
2019年 7月	16,206	92.3	▲ 3.5	766	▲ 10.0	479	▲ 20.2
8月	5,755	44.6	▲ 1.2	544	▲ 13.9	461	▲ 14.2
9月	4,097	5.0	2.0	888	15.6	687	10.6
10月	6,173	59.1	▲ 6.4	428	▲ 34.1	442	▲ 16.6
11月	3,073	20.8	▲ 4.0	489	▲ 20.6	447	▲ 15.8
12月	949	▲ 46.5	▲ 3.5	504	3.5	335	▲ 18.9
2020年 1月	731	12.8	▲ 1.9	454	▲ 15.3	377	▲ 18.6
2月	858	18.6	▲ 0.9	591	▲ 4.4	485	▲ 16.2
3月	9,195	28.5	▲ 6.6	974	▲ 6.3	728	▲ 20.3
4月	32,644	8.1	▲ 5.9	615	▲ 25.0	332	▲ 42.8
5月	18,648	16.1	▲ 6.1	386	▲ 43.3	232	▲ 60.4
6月	17,048	61.6	1.2	559	▲ 23.3	413	▲ 25.5
7月	8,931	▲ 44.9	0.5	623	▲ 18.7	555	15.9
資料出所	北海道建設業信用保証		日本銀行函館支店	日本自動車販売協会連合会函館支部、函館軽自動車協会			

(注) 1. rは修正値。pは速報値。

2. 以下の項目の年度・四半期については、日本銀行函館支店の算出値。

(年度・四半期) 乗用車新車登録・届出台数、函館空港乗降客数、五稜郭タワー利用客数、企業倒産
(四半期) 公共工事請負金額、新設住宅着工戸数、函館山ロープウェイ利用客数、有効求人倍率

3. 小売店売上高前年比は、2019年2月から調査先数を主要7社に変更。

	新設住宅着工戸数 (函館市)							
	戸	前年比	持家		貸家		分譲住宅	
			戸	前年比	戸	前年比	戸	前年比
2018年度	戸	%	戸	%	戸	%	戸	%
2019年度	1,475	▲ 12.0	571	▲ 2.6	713	▲ 23.2	182	14.5
	1,570	6.4	611	7.0	727	2.0	232	27.5
2019年 4- 6月	423	17.2	198	17.9	174	13.7	51	64.5
7- 9月	513	37.5	165	7.1	299	64.3	49	32.4
10-12月	374	▲ 28.1	137	▲ 4.2	165	▲ 49.4	72	41.2
2020年 1- 3月	260	17.6	111	4.7	89	71.2	60	▲ 4.8
4- 6月	295	▲ 30.3	150	▲ 24.2	88	▲ 49.4	57	11.8
2019年 7月	231	60.4	65	20.4	152	97.4	14	7.7
8月	118	18.0	51	4.1	44	25.7	23	43.8
9月	164	27.1	49	▲ 3.9	103	47.1	12	50.0
10月	98	▲ 57.9	55	31.0	24	▲ 86.0	19	0.0
11月	99	▲ 36.5	39	▲ 27.8	47	▲ 45.3	13	▲ 18.8
12月	177	35.1	43	▲ 8.5	94	38.2	40	2.5倍
2020年 1月	56	▲ 26.3	29	▲ 3.3	11	▲ 31.3	16	▲ 46.7
2月	136	2.4倍	36	9.1	72	7.2倍	28	2.0倍
3月	68	▲ 22.7	46	7.0	6	▲ 76.9	16	▲ 15.8
4月	87	▲ 47.6	52	▲ 23.5	16	▲ 81.4	19	58.3
5月	117	2.6	56	▲ 5.1	30	▲ 16.7	31	63.2
6月	91	▲ 36.4	42	▲ 40.8	42	▲ 19.2	7	▲ 65.0
7月	117	▲ 49.4	43	▲ 33.8	52	▲ 65.8	22	57.1
資料出所	国土交通省							

(注) 4. 新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅、給与住宅の合計。

	函館市内ホテル 宿泊客数前年比 (主要23先)	函館空港乗降客数						函館山ロープウェイ 利用客数		五稜郭タワー 利用客数	
		千人	前年比 %	国内線		国際線		千人	前年比 %	千人	前年比 %
				千人	前年比 %	千人	前年比 %				
2018年度	▲ 2.7	1,789	0.3	1,608	0.8	180	▲ 4.2	1,696	▲ 2.8	865	▲ 3.3
2019年度	▲ 5.3	1,679	▲ 6.1	1,531	▲ 4.8	147	▲ 18.3	1,591	▲ 6.2	892	3.2
2019年 4-6月	1.9	437	▲ 3.4	400	▲ 2.1	36	▲ 15.5	438	▲ 1.6	280	7.5
7-9月	7.1	512	3.3	473	5.5	39	▲ 17.4	471	6.4	309	14.5
10-12月	0.9	450	2.4	405	2.1	45	5.2	406	17.7	213	13.0
2020年 1-3月	▲ 35.1	279	▲ 30.3	252	▲ 28.5	26	▲ 43.5	274	▲ 40.7	89	▲ 38.4
4-6月	▲ 83.9	49	▲ 88.6	49	▲ 87.5	0	皆減	12	▲ 97.2	7	▲ 97.4
2019年 7月	▲ 3.8	152	▲ 5.6	142	▲ 1.4	10	▲ 41.5	126	▲ 12.1	87	▲ 2.4
8月	▲ 5.8	182	▲ 3.3	166	▲ 2.6	15	▲ 10.0	175	▲ 9.2	119	1.9
9月	43.9	176	22.0	163	23.7	13	5.0	168	60.7	101	62.1
10月	9.2	162	2.0	146	0.2	15	22.6	81	3.0倍	90	18.3
11月	3.9	147	2.6	133	3.6	13	▲ 6.4	155	26.6	63	18.7
12月	▲ 9.8	140	2.6	124	2.7	16	1.8	169	▲ 13.2	60	1.3
2020年 1月	▲ 6.4	135	2.8	119	3.3	16	▲ 1.3	153	1.2	42	▲ 2.3
2月	▲ 26.6	102	▲ 14.5	92	▲ 11.5	10	▲ 34.3	99	▲ 33.9	36	▲ 20.4
3月	▲ 69.1	41	▲ 72.2	41	▲ 69.1	0	皆減	21	▲ 86.7	10	▲ 81.1
4月	▲ 78.8	15	▲ 87.6	15	▲ 86.4	0	皆減	4	▲ 97.1	2	▲ 97.4
5月	▲ 91.0	9	▲ 94.2	9	▲ 93.7	0	皆減	0	皆減	0	皆減
6月	▲ 80.7	24	▲ 83.3	24	▲ 82.1	0	皆減	7	▲ 93.6	5	▲ 93.6
7月	▲ 62.7	46	▲ 69.5	46	▲ 67.4	0	皆減	26	▲ 79.4	18	▲ 78.5
資料出所	日本銀行函館支店	函館空港ビルディング				函館山ロープウェイ		五稜郭タワー			

(注) 5. 函館市内ホテル宿泊客数前年比は、2020年6月から調査先数を主要23先に変更（2020年5月以前の月次、2020年1-3月以前の四半期、2019年度以前の年度は主要24先）。

	水産加工品 売上高前年比 (主要6社)	有効求人倍率 (渡島・桧山管内)		企業倒産 (負債総額10百万円以上)	
		倍	ポイント	倒産件数	負債総額 百万円
2018年度	▲ 4.4	1.03	▲ 0.03	8	760
2019年度	▲ 0.2	0.94	▲ 0.09	17	10,651
2019年 4-6月	▲ 2.3	1.01	0.03	5	2,019
7-9月	3.1	0.96	▲ 0.12	5	3,122
10-12月	2.9	0.95	▲ 0.09	5	2,498
2020年 1-3月	▲ 7.3	0.82	▲ 0.22	2	3,012
4-6月	▲ 0.6	0.69	▲ 0.32	3	427
2019年 7月	0.3	0.99	▲ 0.07	0	0
8月	▲ 1.0	0.95	▲ 0.13	4	1,522
9月	10.6	0.93	▲ 0.18	1	1,600
10月	1.3	0.98	▲ 0.05	2	515
11月	9.0	0.95	▲ 0.11	1	1,664
12月	▲ 0.5	0.92	▲ 0.12	2	319
2020年 1月	10.1	0.81	▲ 0.26	1	3,000
2月	▲ 8.0	0.83	▲ 0.18	0	0
3月	▲ 17.2	0.83	▲ 0.19	1	12
4月	▲ 9.1	0.71	▲ 0.27	1	79
5月	1.8	0.68	▲ 0.32	0	0
6月	7.6	0.67	▲ 0.37	2	348
7月	▲ 8.5	0.67	▲ 0.32	1	78
資料出所	日本銀行函館支店	函館公共職業安定所		東京商工リサーチ函館支店	

(注) 6. 水産加工品売上高前年比（主要6社）は、2019年4月から一部調査先における計上品目を拡大。

2. 金融関連指標

	実質預金末残前年比				貸出金末残前年比			
		法人	個人	地公体		法人向け	個人向け	地公体向け
	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円
2018年度	1.6	3.9	0.4	8.4	0.4	▲ 1.5	2.6	2.9
2019年度	▲ 0.2	▲ 2.1	1.0	▲ 8.6	▲ 1.3	▲ 2.4	2.9	▲ 5.4
2019年 6月	0.2	1.2	0.7	▲ 9.1	▲ 0.1	▲ 1.5	2.4	0.4
9月	▲ 0.4	▲ 1.4	0.5	▲ 7.8	▲ 0.3	▲ 1.8	3.2	▲ 2.1
12月	0.5	0.6	1.1	▲ 7.2	0.4	▲ 1.2	2.6	1.9
2020年 3月	▲ 0.2	▲ 2.1	1.0	▲ 8.6	▲ 1.3	▲ 2.4	2.9	▲ 5.4
6月	5.0	10.0	3.6	3.8	2.8	3.7	3.0	▲ 0.3
2019年 7月	0.6	1.0	0.7	▲ 1.4	0.3	▲ 0.8	2.3	0.5
8月	1.3	3.1	0.9	0.8	0.0	▲ 1.6	2.9	0.4
9月	▲ 0.4	▲ 1.4	0.5	▲ 7.8	▲ 0.3	▲ 1.8	3.2	▲ 2.1
10月	0.3	1.4	0.7	▲ 8.7	0.6	▲ 1.1	3.1	1.5
11月	1.1	4.0	1.0	▲ 8.3	0.6	▲ 1.0	2.7	2.3
12月	0.5	0.6	1.1	▲ 7.2	0.4	▲ 1.2	2.6	1.9
2020年 1月	0.8	1.1	1.2	▲ 5.3	0.6	▲ 1.0	2.7	2.3
2月	1.4	3.3	1.3	▲ 4.8	0.6	▲ 0.8	2.8	1.3
3月	▲ 0.2	▲ 2.1	1.0	▲ 8.6	▲ 1.3	▲ 2.4	2.9	▲ 5.4
4月	1.0	0.2	0.9	6.7	▲ 0.5	▲ 1.9	3.0	▲ 2.5
5月	5.7	9.9	2.2	32.4	1.2	0.5	3.1	▲ 0.1
6月	5.0	10.0	3.6	3.8	2.8	3.7	3.0	▲ 0.3
7月	6.1	15.1	3.8	3.4	3.6	5.1	2.9	▲ 0.2
月末残高	16,691	3,753	11,942	956	9,993	5,407	3,020	1,566
資料出所	日本銀行函館支店							

(注) 7. 実質預金末残(預金末残一切手手形)・貸出金末残は、国内銀行(ゆうちょ銀行等を除く)および信用金庫の道南地方店舗の銀行勘定(オフショア勘定を除く)を集計。

	貸出約定平均金利 (ストック・総合) <含・当座貸越>	銀行券				
		発行		還収		
		億円	%	億円	%	
2018年度	1.193	2018年度	1,696	▲ 4.4	726	1.2
2019年度	1.162	2019年度	1,642	▲ 3.2	695	▲ 4.2
2019年 6月	1.190	2019年 4-6月	452	6.6	226	24.5
9月	1.184	7-9月	351	▲ 7.4	172	▲ 13.4
12月	1.165	10-12月	528	▲ 3.0	122	▲ 10.0
2020年 3月	1.162	2020年 1-3月	309	▲ 10.9	173	▲ 16.6
6月	1.144	4-6月	462	2.2	75	▲ 66.6
2019年 7月	1.186	2019年 7月	116	▲ 6.9	66	▲ 23.5
8月	1.185	8月	137	▲ 6.5	58	▲ 6.3
9月	1.184	9月	97	▲ 9.2	47	▲ 4.9
10月	1.179	10月	158	8.8	51	16.2
11月	1.174	11月	107	▲ 16.1	43	▲ 28.8
12月	1.165	12月	261	▲ 3.1	27	▲ 10.6
2020年 1月	1.165	2020年 1月	60	▲ 9.3	102	▲ 5.9
2月	1.165	2月	119	▲ 14.6	31	▲ 35.5
3月	1.162	3月	129	▲ 8.0	39	▲ 21.5
4月	1.168	4月	167	▲ 31.2	26	▲ 39.5
5月	1.151	5月	108	55.2	31	▲ 76.4
6月	1.144	6月	187	33.9	17	▲ 64.4
7月	1.141	7月	114	▲ 1.7	33	▲ 49.9
資料出所	日本銀行函館支店	資料出所	日本銀行函館支店			

(注) 8. 貸出約定平均金利は、国内銀行(ゆうちょ銀行等を除く)の道南地方店舗の貸出金利を貸出金残高(末残)で加重平均したもの。